

Report '11

平成23年度 上半期ディスクロージャー誌

- 新しい但馬のブランドへ『朝倉さんしょ』
- 3年目を迎えたあぐりキッズスクール・JA 杯
- 『地域ふれあい活動』を通じた地域の活性化
- JA たじまが取り組む社会貢献活動について

養父市大屋町：天滝

平成 23 年度上半期ディスクロージャーの発刊によせて



平成 23 年度上半期ディスクロージャー誌をご覧ください。本冊子を通じて、当組合へのご理解を一層深めていただければ幸いです。

J A たじまにとりまして、平成 23 年度は、平成 13 年の広域合併より 10 周年となる節目の年にあたります。その節目の年から

スタートした、新中期計画

「Plan 2013」は、基本方針（スローガン）を「たじまに生きるたじまを活かす」とし、但馬の農業振興と組合員のくらしに関する取り組みを中心とした計画になっております。但馬の農業、くらしを取り巻く状況は厳しいものが続くと思われませんが、J A たじまは新中期計画の着実な実践を通して地域の活性化に全力で取り組んでまいります。より一層のご支援・ご鞭撻を賜りますとともに、皆さまの J A たじまへの参画をお願い申し上げます。

平成 23 年 11 月

たじま農業協同組合

代表理事組合長

金子 洋一

経営理念

J A たじまは、兵庫県北部の但馬地区を事業エリアとする農業協同組合（農協）です。

J A は、協同組合の精神である「一人は万人のために、万人は一人のために」（相互扶助）を合言葉に農業従事者が協同の力で経済的・社会的地位の向上を図ることを目的につくられました。J A グループでは、この協同組合の精神に基づき J A 綱領を定めています。J A たじまでは、この J A 綱領を経営理念としています。

経営方針

J A たじまでは、平成 23 年度から、3 カ年の中期計画「Plan 2013」に取り組んでいます。この中期計画では「たじまに生きるたじまを活かす」のスローガンのもと、3 カ年間に取り組む主要な課題を 3 つにまとめ、これらの課題を達成すべく、様々な施策を計画しています。

中期計画主要な課題

（3 つの柱）

- 但馬の農力を活かした
持続可能な農業の展開
- くらしを支える活動の展開
- 地域とのきずなを深めた
魅力ある J A 活動の展開

詳しくは、ホームページをご覧ください。また、店頭にも備え置きしています。ディスクロージャー本冊「Report 11」をご覧ください。

平成23年度上半期の概況について

特に表記のない数値の単位は百万円です。

JAたじまの概要（H23.9月末現在）

組合員数	47,869人
うち正組合員数	27,421人
うち准組合員数	20,448人
組合員戸数	36,544戸
うち正組合員戸数	22,321戸
うち准組合員戸数	14,223戸
出資金	4,685
金融店舗数	40店舗
営農生活センター数	12センター
職員数（準・アルバイト含）	838人

主要勘定の状況について

	H22.9月末	H23.3月末	H23.9月末
貯金	326,038	329,780	331,123
貸出金	64,400	63,878	62,910
預け金	242,728	243,824	248,619
有価証券	18,846	20,140	19,524
長期共済保有高	1,553,131	1,536,420	1,513,512

単体自己資本比率について

H23.3月末(参考)	H23.9月末
15.66%	15.85%

(注記)
単体自己資本比率は平成18年度末より、パーゼルⅡによる自己資本比率規制が適用されています。

有価証券の時価情報について

	H23.3月末			H23.9月末		
	取得金額	時価	評価損益	取得金額	時価	評価損益
売買目的	—	—	—	—	—	—
満期保有目的	—	—	—	—	—	—
その他	19,944	20,140	195	19,317	19,524	206
合計	19,944	20,140	195	19,317	19,524	206

(注記)

1. 時価は市場価格等によっています。
2. 取得金額は取得原価又は償却原価によっています。
3. 売買目的有価証券については、時価を貸借対照表価額とし、評価損益については、当期の損益に含めています。
4. 満期保有目的の債券については、取得金額を貸借対照表価額として計上しています。
5. その他有価証券については、時価を貸借対照表価額としています。

金融再生法開示債権区分に基づく保全状況

債券区分	H23.3月末	H23.9月末
破産更正債権およびこれらに準ずる債権	254	371
危険債権	1,296	1,122
要管理債権	19	263
小計(A)	1,571	1,757
保全額(合計)(B)	1,370	1,486
担保	518	588
保証	187	214
引当	664	683
保全率(B/A)	87.26%	84.59%
正常債権	62,402	61,235
合計	63,973	62,992

(注記)

左記の債権区分は「金融機能再生のための緊急措置に関する法律」(平成10年法律第132号)第6条に基づき、債務者の財政状態及び経営成績等を基礎として、次のとおり区分したものです。

1. 破産更正債権及びこれらに準ずる債権
法的破綻等による経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権
2. 危険債権
経営破綻の状況にはないが、財務状況の悪化等により元本及び利息の回収ができない可能性の高い債権
3. 要管理債権
3ヵ月以上延滞貸出債権及び貸出条件緩和貸出債権
4. 正常債権
上記以外の債権



朝倉さんしよを 光輝く脇役として 育てていくことが目標です。

J A たじま 朝倉さんしよ部会
福井 悦雄 さん

部会の概要について 教えてください。

全国に広がっている実さんしよう品種「アサクラサンショウ」は養父市八鹿町朝倉が発祥の地といわれ、古くから多くの農家で栽培されてきました。この「アサクラサンショウ」を但馬地域のブランド「朝倉さんしよ」としてJAたじまや県、各行政が一体となり、生産拡大と品質の向上を進めるため、平成21年に「JAたじま朝倉さんしよ部会」が発足されました。現在部会員は約200名。養父市だけでなく、但馬各地にも支部ができています。今年度は部会で新たに1、800本を定植する予定です。

朝倉さんしよの特長を 教えてください。

朝倉さんしよは、実が大きく、まろやかな香りが特長です。他の山椒と比べて渋みが少なく、後味がスツと消えることが好評

です。また、樹にトゲが無いので、栽培し易い品種でもあります。

栽培で苦労する点について 教えてください。

山椒の収穫は手作業で行いますので大変ですね。商品としては見た目も大切ですので、実には傷が付かないよう、丁寧に収穫します。また、収穫適期が1週間程度と短いため、収穫時期は大変忙しくなります。

よりよい朝倉さんしよを 生産するために取り組ん でいることはありますか。

朝倉さんしよの特長である、大きな実を収穫するためには、剪定作業は欠かせません。剪定作業で余分な枝を落とすことで、養分が実に集まり大粒になります。この作業は収穫のし易さという面でも大切になります。山椒の木は、そのままだと数年で手が届かないくらい大きくなります。こうなると収穫作



業に脚立が必要となりますが、剪定をすることで枝の張りを工夫し、手の届く範囲で収穫が出来るよう工夫をしています。

これからの目標と課題に ついて教えてください。

山椒は、食卓では主役ではありません。あくまで脇役として、主役である料理を引き立てる役割を持つものだと思います。朝倉さんしよは、その香りのすばらしさなどから、脇役としての能力は十分に持っています。これからは品質の向上を目指すことはもちろん、まだ知られていない山椒の食べ方を提案していくことで、消費の拡大につなげていき、朝倉さんしよを光輝く

【 部会長紹介 】
JAたじま朝倉さんしょ部会
福井悦雄部会長

6年前から朝倉さんしょの栽培をはじめ、現在は13本の木を栽培されています。平成23年度から部会長に就任。養父支部だけでなく、管内全域の部会長として朝倉さんしょの普及・ブランド化に尽力されています。

消費者の皆さんにたくさん食べていただくことは、生産者の喜びになります。色々な方のアイデアを頂きながら新しい山椒の食べ方を提案していきたいと思っておりますので、是非朝倉さんしょを召し上がってみて下さい。

消費者の方々へのメッセージをお願いします。

脇役として育てていくことが目標です。また、山椒は他の果樹と比べて栽培にあまり手間がかかりません。勤めながらでも十分に栽培できますので、勤め人の方にも栽培に挑戦していただけるよう部会としても提案していきたいですね。

JAたじまのファーマーズマーケット 「たじまんま」がオープンしました。

「たじまんま」には、但馬で作られた野菜や肉、加工品、花などが生産者のみなさんの手によって毎日持ち込まれます。直売所ならではの新鮮・安全・安心な農産物をぜひどうぞ。



たじまのまんまをそのまんま

切花に花壇苗、
いろとりどりの
花が並びます。



但馬の
こだわり米を
その場で精米!



その他、惣菜やお餅、パンなど
さまざまな加工品や但馬漁協の魚を
ご用意しております。



たじまんまでお求め
いただけます。



極上の肉質
「但馬牛肉」をご家庭で!



営業時間：午前 9：00～午後 6：00 定休日：毎週火曜日(祝日営業いたします)
〒668-0854 兵庫県豊岡市八社宮 490-3
TEL.0796-22-0300 FAX.0796-22-0611 URL <http://www.ja-tajima.or.jp>

あぐりキッズスクール

平成21年に開校した食農体験教室「あぐりキッズスクール」も、今年度で3年目となりました。新しい参加者だけでなく、リピーターも増え、出石、香住、和田山の3つの会場で百名を超える参加がありました。各会場では地域の特産物による農業体験や、収穫した農産物を料理することを通して食と農に対する理解を深めました。

和田山会場

開校式の後はみんなで田植え。初対面の生徒もスタッフも、泥まみれになった田植えを通じて打ち解けることができました。



出石会場

あぐりキッズで栽培・収穫したピーマンを、ファーマーズマーケット「たじまんま」で販売体験しました。



香住会場

受粉から大切に育てた香住特産の梨。9月には大きく育った梨をみんなで収穫することができました。



JA たじま杯

JA たじまでは、平成21年度より、但馬全域を対象としたスポーツ大会の支援をさせていただいております。但馬の人たちの健康な心と体づくりを応援するために、大会当日には「食」と「農」のつながりと大切さを考える「みんなのよい食プロジェクト」のPRも行っています。

但馬小学生バレーボール大会

8月7日に新温泉町の3会場で、但馬各地から34チーム320名が参加して開催されました。



但馬家庭婦人交流バレーボール大会

8月21日に豊岡市総合体育館で開催されました。但馬各地からジュニアチーム・シニアチーム合わせて20チーム240名が参加しました。



少年サッカー大会

9月25日に但馬ドームの芝グラウンドなどで開幕し、6年の部と4年の部あわせて36チームが参加しました。



但馬少年野球新人大会

10月2日に朝来市内8ヶ所のグラウンドで開催されました。43チームが参加し熱戦が繰り広げられました。



地域ふれあい活動について

「地域ふれあい活動」とは、但馬各地にあるJAの支店を中心として、組合員や地域の皆様と役員が一緒になって「地域活性化に寄与する活動をJAに集まって実施しよう!」と取り組んでいる活動を言います。

支店管内の組合員で構成される「支店運営委員会」で出された組合員の皆様からの様々なアイデアをもとに、地域イベントへの参加や、JA単独での行事開催など、様々な活動が行われています。

美方支店 ふるさと小代夏祭りへ参加

美方支店は7月30日、「第34回ふるさと小代夏祭り」に参加しました。支店で出店した地元産の食材を使った焼き鳥店には、組合員や地元住民が集まり、交流の輪ができました。



社会貢献活動について

JAたじまは、「地域社会に根ざした組織」として、地域に対する社会的責任を持つ組織であると認識しています。そのことから、「地域ふれあい活動」として、また役員が中心となった社会貢献活動の一環として、様々なボランティア活動にも取り組んでいます。

長寿運動会のお手伝い

豊岡南支店では9月24日、神美地区のご長寿60名が参加した「第28回神美長寿会連合会運動会」にボランティアスタッフとして参加しました。支店職員5名は、準備演技係りとして参加し、開会1時間前から半前からの会場の設営や道具の準備を手伝いました。



村岡ダブルフルマラソン ボランティアスタッフとして参加

射添支店は9月25日、美方郡香美町で開催された「第14回村岡ダブルフルウルトラランニング」ボランティアスタッフとして参加しました。支店近くに設営した休憩所で、管内で収穫された新米のおにぎりや特産の梨をランナーに手渡し、声援を送りました。



気比の浜 清掃活動

JAたじまは9月28日、台風の影響で浜に大量のごみが打ち上げられ困っているとの地域の声を聞き、豊岡市の気比(けい)の浜でごみの清掃活動を行いました。職員22名は、大きな流木を浜辺の一角に集めたり、プラスチックごみを分別して袋に集めるなどして、浜辺の美化につとめました。



震災復興支援について

このたびの東日本大震災により被災された皆さま、そのご家族・関係者の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

JAグループでは、震災発生の翌日、災害対策本部を設置し、グループを挙げて震災復旧・復興支援をすることを決定しました。これを受け、JAたじまでは、組合員や利用者、役員等へ義援金の協力を依頼。その結果、JAたじま独自を含め、合計約515万円の義援金が集まり、5月には被災地の各JAグループ災害対策本部等へ贈呈されました。また、物的支援として豊岡市と連携して、米5トンなどを被災地に送るとともに、人的支援として、6月にはJA兵庫のボランティア隊に4名の職員が参加しました。

被災地の復旧・復興は、長期間にわたると予測されますので、今後についてもJAグループ各機関と連携をとりながら支援に取り組んでまいります。





平成23年度上半期ディスクロージャー誌
平成23年11月発行

〒668-0046 兵庫県豊岡市立野町20-2
TEL 0796-22-7265 (代)
<http://www.ja-tajima.or.jp>